

# 校長先生のお話を聞いて

令和 2 年度 No. 1

## 6月3日の朝会での校長先生のお話

### 「よりよいあいさつしよう」

おはようございます。

きょうは、ソフトボールのオリンピック選手、上野由岐子選手のお話をします。上野選手は、37歳で、12年前の北京オリンピックで、エースとして活躍し、金メダルを獲得した選手です。ソフトボールは上野選手が金メダルを取った後、オリンピック種目ではなくなり、そのあとはオリンピックに出場することができませんでした。しかし、2020年、今年ですね、東京でオリンピックが開かれるときに、ソフトボールがオリンピック種目に決まりました。上野選手は37歳で、選手としては引退してもおかしくない年齢です。それでも、東京でオリンピックが開かれると言うことで、現役選手を続け、苦しい練習にも耐え頑張り続けていました。

ところが、上野選手には思いがけず、苦しいことが続きます。去年の試合中に、上野選手の投げた球を打った打球が、上野選手のあごを直撃し、骨折、入院してしまったのです。もちろん試合に出られなければ練習もできません。オリンピックに向かって練習して自分の力を高めたい時です。みなさんは、こんなことがあったらどう思うでしょうか。このときのことを振り返って、上野選手はこのように言っています。「けがをしたことで、自分自身が何をしなければならぬのか、これからどうしたいのか、いろいろなことを考える時間をもらった。怪我をしたことが、自分が成長する時間をもらった。逆に怪我をしてよかった。今まで通りにやっていたことが本当によかったのか、神様が何か気づいてほしいと与えてくれた」と、怪我をしたことに落ち込むことなく、前向きに、プラスに考えていたのです。

次に起こったのは、知っている人も多いと思



います。東京オリンピックのコロナウイルス感染症による延期です。しかも、東京オリンピックの開幕の試合は、上野選手38歳の誕生日の日でした。上野選手はとても楽しみにしていたはずですが。

みなさんは、東京オリンピックが延期になって、上野選手がどんな思いをもったと思いますか。また、もしみなさんが同じようなことが起こったら、どんな思いを持つでしょうか。

コロナウイルス感染症で、さまざまなことが中止や延期になっています。苦しい練習を積み重ね、頑張っている人がたくさんいます。校長先生も楽しみにしていたことが中止になってしまいました。延期になったり、中止になったりすることは、みなさんが変えようと思っても変えられることはありませんね。そんなとき、どう行動すべきなのか、どのように考えていったらよのでしょうか。上野選手の気持ちを想像して、自分自身の行動を考えてほしいと思います。

### 6年1組 正木 美奈 さん

今日の校長先生のお話は、ソフトボール選手のお話でした。東京オリンピックに向けて練習していたら、けがをしてしまい、「成長できた。」とマイナスをプラスに変えていったというお話です。

私も、楽しみにしていた日に休んでしまったことがあり、すごくこうかいしています。でも、ぜったい休まないと思っていたら、休まずにいらしたので、すごくよかったです。

そのときは、くやしかったりかなしかったりしても、「次はぜったい行く」など、強く願えば、必ずできると思いました。私もあきらめないでがんばっていききたいと思います。

### 6年2組 櫻井 叶大 さん

今日の校長先生のお話は、ソフトボールの上野選手のお話でした。37才と引退してもおかしくない年れいです。しかし、苦しい練習にたえ、東京オリンピックに向けてがんばっていました。しかし、上野選手はけがを負います。

このとき、上野選手は、「けがをしたことで、考えるチャンスをくれた。」と発言していました。ぼくは、この発言に共感しました。「ピンチをチャンスに変える。」それは、今、コロナウィルスで色々な事が休みになる中、それをチャンスに変えて、努力したり、チャレンジしたりするこ

と同じだからです。

ぼくは、コロナウィルスにうばわれた時間は、コロナウィルスがくれた時間だと思います。そして、この時間を新しいチャレンジや、自分を高めることに使いたいと思います。

### 5年1組 柴崎 今結 さん

今日の校長先生のお話は、ソフトボールの上野選手のお話でした。上野選手は、オリンピック出場に向けてがんばっていたけれど、いやなことが2回きます。

一つ目は、ボールが上野選手の上野選手のあごに当たって入院しました。上野選手は成長する時間をもらったと言っていました。二つ目は、オリンピック延期です。

ぼくも入院をします。ぼくは、このお話を聞いて、上野選手みたいに成長する時間をもらったと思えばいいと思いました。

### 5年2組 小崎 日和 さん

今日の校長先生のお話は、ソフトボールの上野ゆき子選手のお話でした。上野選手は、あごを骨折してしまいました。でも、ケガのおかげで、考える時間ができた、成長できたなどのお話でした。

私は、上野選手はとっても気が強い選手だと思いました。「ケガをしても、考える。」ととってもすごいと思いました。自分だったらどうするのかと思いました。

自分だったら、こんな時何も考えられないかもしれないと思いました。でも、あきらめてはいけなかったと思います。このことだけではなく、あいさつなどもがんばりたいと思いました。

### 4年1組 磯田 遥叶 さん

今日の校長先生のお話は、ソフトボールの上野せん手のお話でした。上野せん手は試合であごをこっせつして入院してしまいました。でも、上野せん手はあきらめませんでした。

わたしは、上野せん手のように、けがをしたら、とても落ちこむと思います。でも、上野せん手はけがをしたことをプラスに考えて、入院生活は自分の今の生活でいいのか見なおすチャンスなのかもしれないと思ったそうです。

わたしも落ちこんだ時は上野せん手のようにプラスに考えたいです。

### 3年1組 小池 すみれ さん

今日の校長先生のお話は、上野ゆき子せん手のお話でした。上野選手けがでしあいに出席できませんでした。

わたしが、もし上野せん手だったら、もうあきらめてるかもしれません。なので、わたしも上野せん手みたいにあきらめないで、習い事や学校の事をやりつづけたと思います。

上野せん手はこっせつしても「出たい」と言っていて、上野せん手ががんばりやさんなんだなと思いました。コロナウィルスにまけないように、わたしががんばりたいと思います。

### 3年1組 小林 孝太郎 さん

今日の校長先生のお話は、上野せん手はけがをして練習ができない時間にやるべきことを考えられてよかったというお話でした。

自分が楽しみにしていたことがなくなったときに、自分のやることを考えて、やっていきたいと思いました。

今日の校長先生のお話を聞いてよかったです。

### 2年1組 面ざわ 泉来 さん

今日の校長先生のお話は、ソフトボールせんしゅの上のゆき子せんしゅのお話はなしでした。上のせんしゅは、れんしゅうでけがをしてしまいました。でも、「かんがえるじかんをもらった。」「ケガをしてよかった。」と言っていました。

わたしのがんばりたいことは、ケガをしていろいろながんばりたいです。

### 2年2組 みやはら まな さん

今日の校長先生のお話は、上のせんしゅのあごにソフトボールが当たってけがをしてしまったおはなしでした。

オリンピックが上のせんしゅの38さいのたん生日だったのに、えんきになったし、けがをしてしまって、とてもかわいそうだと思います。

わたしは、上のせんしゅみたいに、ど力して足がはやくなりたいです。

**今回は、「前向きな気持ちを持って取り組もう」というお話でした。自分自身の行動も見なおしてみましょう。**

**1年生は2学期から取り組みます。**

**次回の校長先生のお話は7月1日（水）の全校朝会です。**